

● 現在の経営状況^{*2}

前回からの変化		
住宅・宅地分譲業	13.8 p	△ 2.3 p ▼
不動産流通業（住宅地）	△ 9.3 p	△ 8.1 p ▼
ビル賃貸業	26.5 p	5.9 p ▲

● 3ヶ月後経営状況見通し^{*3}

前回からの変化		
住宅・宅地分譲業	△ 6.9 p	△ 5.1 p ▼
不動産流通業（住宅地）	△ 9.3 p	△ 8.1 p ▼
ビル賃貸業	2.9 p	0.0 p ▬

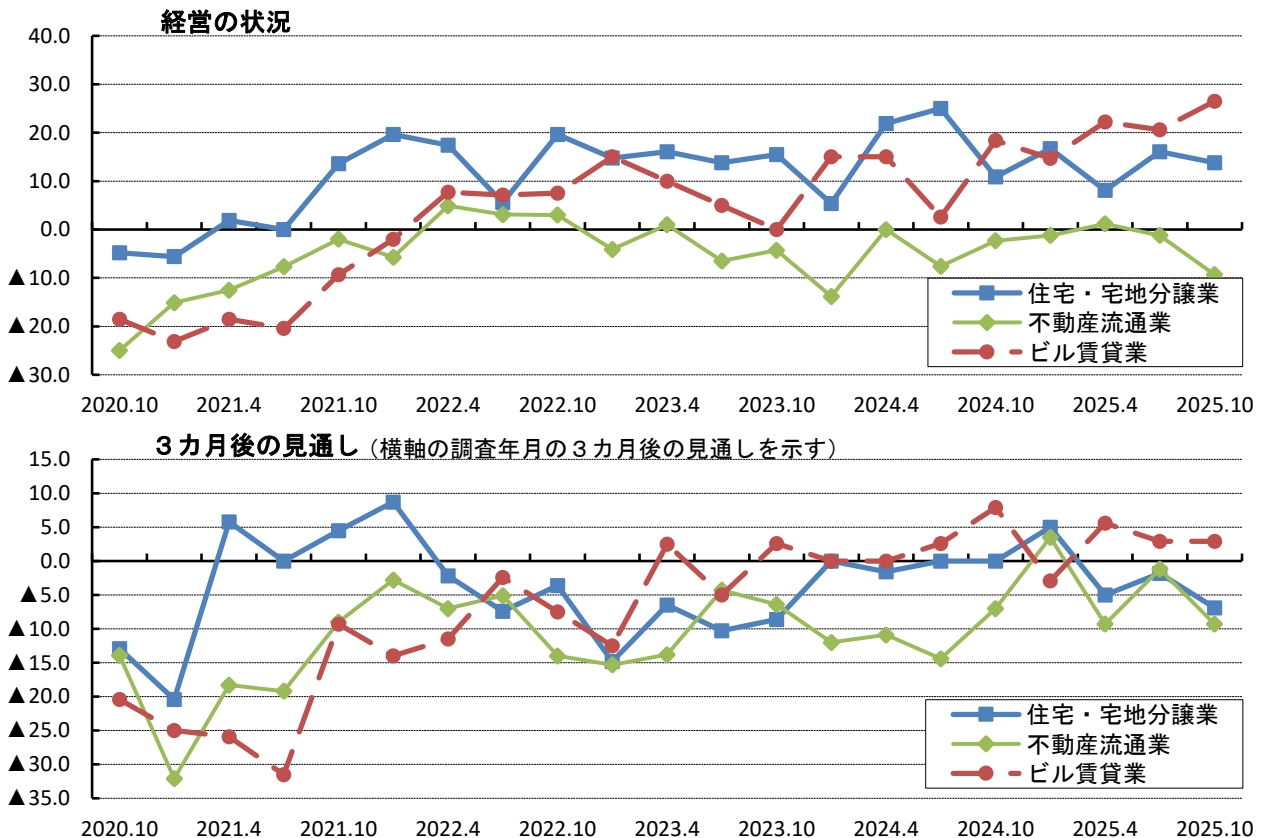
住宅・宅地分譲業の経営状況は前回の調査時点から2.3p悪化し、13.8pとなった。
不動産流通業は、前回から8.1p悪化し -9.3p。
ビル賃貸業は、前回のから5.9p改善し 26.5p。3期連続のプラス水準。

3ヶ月後の見通しは、住宅・宅地分譲業、不動産流通業で悪化、ビル賃貸業では横ばい。

^{*1} 不動産業を営む企業を対象としたアンケート調査をもとに、不動産業業況指数を算定（-100～+100、0が判断の分かれ目）。調査時期は毎年1、4、7、10月。

^{*2} 経営の状況＝{（「良い」×2＋「やや良い」）－（「悪い」×2＋「やや悪い」）}÷2÷回答数×100

^{*3} 3ヶ月後の見通し＝{（「良くなる」×2＋「やや良くなる」）－（「悪くなる」×2＋「やや悪くなる」）}÷2÷回答数×100（調査年月の3カ月後の見通しを示す。）



[不動産業業況等調査結果（pdf）ダウンロード](#)

資料：一般財団法人 土地総合研究所「不動産業業況等調査」

土地総研メールマガジン 第157号「不動産業業況等調査」